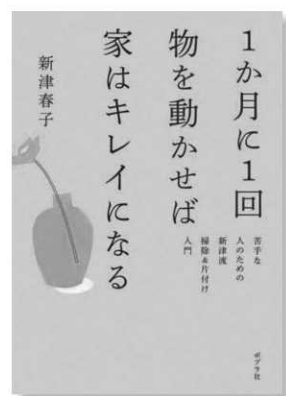




今年の汚れ、今年のうちに

『1か月に1回物を動かせば家はキレイになる 苦手な人のための新津流掃除&片付け入門』 新津春子/ポプラ社



何から手を付けていいかわからない。そんな片付けが苦手な人へ、羽田空港を「世界一清潔な空港」にした人物としてテレビなどで話題となった著者が、その方法や簡単なルールを豊富なイラストともに分かりやすく教えてくれる1冊。

『あなたの人生、片づけます』

垣谷美雨/双葉社



「部屋を片づけられない人間は、心に問題がある」と考えている片づけ屋が主人公の「断捨離」小説。OLや主婦、老人といったさまざまな背景を抱えた依頼人の、心のうちと部屋の両方を片付けのお手伝いをするさまを描く1冊。

『すみっこぐらしのおかたづけ ちゃおブックス』

水谷妙子、サンエックス/小学館



かわいいキャラクターが人気のすみっこぐらしのみんなが、忙しい小学生でも簡単に片付けができるコツを教えてくれる1冊。整理収納アドバイザーが監修しているので、大人が読んでも役立つ内容になっています。

『ぐりとぐらのおおそうじ』

なかがわりえこ文 やまわきゆりこ 絵/福音館書店



みんなが知っている「ぐりとぐら」。あるひ2匹はほこりだらけの部屋を掃除しようとしてますが、ほうきやぞうきはボロボロで使えません。そこである方法を思いつくのですが…。彼らは上手に掃除ができたでしょうか？

年末年始期間に関するお知らせ

- 年末年始休館期間 12月28日(水)～令和5年1月4日(水)
- 年内開館最終日 【野田川分室】12月26日(月) 【本館・加悦分室】12月27日(火)
- 新年開館初日 【全館】令和5年1月5日(木)
- ※ 令和5年1月9日(祝)は、本館・加悦分室は休館、野田川分室は開館しています。祝日と休館日(本館・加悦分室は月曜日、野田川分室は火曜日)が重なる場合は、休館日となりますのでご注意ください。休館日と重ならない祝日は、平常どおり開館しています。

おはなし会を開催します

— 3会場とも午前10時30分から行います —

▶ 加悦分室…12月10日(土) ▶ 野田川分室…12月18日(日) ▶ 本館…令和5年1月7日(土)

※ 新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください。また、状況によって変更または中止する場合があります。

- 問い合わせ先/与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087
- 開館時間/午前10時～午後6時 ● 休館日/毎週月曜(本館・加悦分室)、毎週火曜(野田川分室)、毎月最終木曜(共通)

皆さん、こんにちは、江陽中学校 ALT のルビーです。月日が過ぎるのは早く、瞬く間に12月となり、今年も残すところわずかとなりました。

寒い冬となりましたが、皆さん元気にお過ごしでしょうか。与謝野町の冬は、年中温暖な気候で知られる故郷アメリカのカリフォルニア州と比べると大変寒く、厳しい季節ですが、その反面、美しい雪を見ることができるとてもうれしい季節でもあります。

雪や紅葉など、日本の四季の変化に伴う自然の大きな変化は世界的にも珍しく、また美しい光景

を作り出すと言われていたのですが、今年の秋の紅葉は特にきれいで印象的でした。秋に山へハイキングに出かけた際には、色とりどりの美しく紅葉したもみじを各所で目にし、その美しさに思わず目を奪われました。また、秋は過酷な日本の夏に疲弊した身体

に安らぎを与えてくれる、大変過ごしやすい季節でもあります。日本の夏は、故郷の夏と比べ、とても多湿であり、常に汗が噴き出す過酷な季節です。故郷の夏は高温ではあっても乾燥しており、快適で過ごしやすい季節なのです。

しかし、厳しい夏の次には、過ごしやすい秋、同じく厳しい冬の次には、過ごしやすい春と日本の四季はうまく変化しているなとも思います。他にも日本には四季に応じたさまざまな季節限定の商品があり、これらも季節の変化に合わせた楽しみの1つになっています。

私たち夫婦が来日して、1

年が過ぎました。言葉の壁など大変なこともありましたが、日本で得たすべての時間と経験にとっても感謝しています。これからも日本各地に旅行し、日本の美しい自然と触れ合えたらと思っています。これからもよろしくお祈りします。



有名な竹田城跡では美しい雲海が広がっていました！

時の贈り物 [第124回 それ、何て呼びますか？ 電話機の変遷]

河内郷土資料室に収録している昔の道具を紹介いたします。現在は携帯電話やスマートフォンが広く普及していますが、家庭ではまだまだ固定電話が使われているのではないのでしょうか。ファックス機能や無線式の子機が付いていたりもする今日の固定回線電話のご先祖にあたるのが、写真の「デルビル磁石式乙号卓上電話機」です。



デルビル磁石式乙号卓上電話機(大正期)

受話器と送話器はやがて一体化されて、現代の電話機の形になっていくのですが、両端に受話器と送話器を備えた今でも、私たちは普通に送話器の部分を省略して「受話器」と呼んでいるのは興味深いですね。三河内郷土資料室では、紹介した電話機や懐かしの黒電話をはじめ、さまざまな昔の道具に触れて楽しむことができます。ぜひお越しください。

《三河内郷土資料室》
 ■ 入館料 一般150円 (中学生以下無料)
 ■ 開館日時 土・日曜日 午後1時～5時
 ※ 年末年始を除く (与謝野町教育委員会)